

令和7年（2025年）度 年間授業計画（シラバス）									
学年	2	学科	全学科	単位	2	教科	家庭	科目	家庭基礎
学習教材		・183 第一学習社 710 高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる							
学習目標		（1）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けます。 （2）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養います。 （3）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養います。							
単元と学習内容									
1 学 期	1章 これからの生き方と家族			・生涯を見通した上で、青年期の発達課題について理解し、自立について様々な側面から考え、自己理解を深めながら生活設計に取り組む。					
	5章 食生活をつくる （1）人の一生と食事 （2）栄養と食品 （3）食生活の安全のために （4）食生活をデザインする ・ホームプロジェクト			・自己や家族の食事を管理運営することや青年期における毎日の食事の重要性について理解し、食を取り巻く環境の変化や食の安全について考察する。 ・栄養素の種類と機能、食品の栄養的特質や調理上の性質、食中毒の予防などについて理解し、栄養的にバランスのとれた家族の食事を計画する力を身に付ける。 ・「ホームプロジェクト」の意義と実施方法について理解し、生活の中から課題を見出し、個人単位で主体的に計画を立てる。					
2 学 期	3章 充実した生涯へ 4章 とともに生きる 2章 次世代をはぐくむ （1）子どもの発達（2）子どもの生活 （3）子育て支援と福祉 6章 衣生活をつくる （1）被服の機能、材料と管理 （2）小物の製作			・高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解するとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身につけ、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察する。 ・乳児期の愛着の形成は将来の人間関係の基礎となることを理解した上で、関わり方について考察する。また、子どもの育つ環境にどのような課題があるかを考え、親や家族及び地域や社会の果たす役割について考察する。 ・保有する被服の有効な活用や補修、生活者として自立する上で必要な技能を身に付け、小物を製作する。					
	7章 住生活をつくる （1）人の一生と住まい （2）住生活の計画と選択 8章 経済生活をつくる （1）経済の計画・消費者問題を考える （2）持続可能な社会をめざして			・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・収支バランスの重要性とともに、リスク管理も踏まえた家計管理の基本について理解する。また、消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解する。 ・生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに、どのようなライフスタイルが工夫できるか具体的に考察する。					
評 価									
評価の観点		到達度目標「B」（おおむね満足できる）の基準				評価のフィードバック			
						1期末	2期末	学年末	
①	知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な内容について理解するとともに、それらに係る技能を身に付けようとしている。				○	○	○	
②	思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現しようとしている。				○	○	○	
③	主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				○	○	○	
評価 方法	①			②			③		
	㊦定期考査 ㊦小物製作の作品 ㊦実習レポート			㊦定期考査 ㊦ワークシート ㊦ホームプロジェクト ㊦学習の振り返り			㊦出席状況や提出物 ㊦学習・実習参加の仕方や態度 ㊦ホームプロジェクト ㊦学習の振り返り		